

県立学校における働き方改革ガイドライン（概要）

【目 的】

具体的な実践モデルや取組の例をまとめ、勤務時間外の在校等時間の縮減に向け、各学校において取り組んでいく際の参考とする。

【策定期期】

2021年5月

【配布先】

県立学校・各市町村教育委員会及び所管の学校

【内 容】

「愛知県立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針」（上限方針）策定に至る経緯及び概要をはじめ、時間外在校等時間の縮減に向けた取組例として、「日常業務の見直し」、「部活動の在り方」などの項目を設け、想定される課題に対する具体的な対応例を紹介している。

また、「在校等時間の把握と事後的検証」の項目を設け、「在校等時間管理の具体的方法」、「長時間勤務の原因把握・分析と長時間勤務者への指導体制」など、各学校における取組の方向性を示している。

「県立学校における働き方改革ガイドライン」目次

はじめに

在校等時間の上限について

- 1 「県立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針」（上限方針）策定に至る経緯
- 2 上限方針の概要

I 時間外在校等時間の縮減に向けた取組例

1 日常業務の見直しに関する取組例

- (1) 適切な開錠時間・施錠時間の設定
- (2) 電話対応時間の設定
- (3) 担任と副担任の業務の平準化
- (4) 校務分掌の在り方
- (5) 行事の見直し
- (6) P T Aに係る業務の見直し
- (7) 校務支援システムの活用
 - ◎ 教育委員会としての取組

2 部活動の在り方

- (1) 部活動指導ガイドラインの遵守
- (2) 部活動顧問の配置方法の工夫
- (3) 出場大会の精選
 - ◎ 教育委員会としての取組

3 補習などの時間外、休日の業務の見直し

- (1) 補習、検定試験、模擬試験等の在り方
- (2) 時間外の行事等の見直し
 - ◎ 教育委員会としての取組

II 在校等時間の把握と事後的検証

- (1) 在校等時間管理の具体的方法
- (2) 長時間勤務の原因把握・分析と長時間勤務者への指導
- (3) 年間の上限時間を意識した月ごとのシミュレーション
 - ◎ 教育委員会としての取組

参考 市町村立学校における留意事項等